



# なばり

2018年(平成30年) 1月10日号

主な内容

- 1~2……受け継がれる灯 3……税の申告
- 5……マイナンバーカードで住民票などが取得できます
- 7……施設ご利用ガイド 8……新春特別企画・読者アンケート

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉pr@city.nabari.mie.jp

## 新春 新春特別企画



# 受け継がれる灯 ~火縄づくりの伝承~

### 上小波田の火縄づくりの歴史

上小波田の火縄づくりは、今から300年以上前から始まったとされています。江戸時代の文獻には、集中豪雨により上小波田の池が決壊し、農作物を作れなくなりました。伊賀の国を治める藤堂藩が百姓たちに火縄づくりをして収入を得るように奨励したことが書かれています。

火縄は木綿から作られるものが多いですが、上小波田の火縄は薄く削った真竹から作られています。竹に含まれる油分によって燃焼時間が長いのが特徴で、全国的に見ても珍しく、県の伝統工芸品となっています。古くは火縄銃に使われ、今でも数は少ないですが、神社で行なわれている火を使った祭事・催しで使われるなどしています。

### 減少する火縄の生産者

長年続く伝統の火縄づくりも後継者がいないという問題を抱えています。30年前には上小波田に10軒あった生産者も、今では1軒だけになってしまい、火縄づくりの存続が危ぶまれています。

そんな中、火縄づくりの伝統を絶やしてはならないと、上小波田区の有志が集まり、火縄保存会が発足することになりました。

2ページへ続く

## 今年の一言 市長と市議会議員が、今年の抱負などを漢字一文字で表しました

### 名張市長 亀井 利克

昨年は、台風21号の影響により、東山墓園の一部が崩落するなどの被害が発生しました。大勢の皆様にご心配をおかけしておりますが、いち早い復旧に向け、国・県の支援もいただき、その作業を進めております。

今年の一文字は、自然災害などがなく穏やかでありながらも、無限の可能性を感じる年にしたいと思い、「**圓**」としました。

人や企業から選ばれる活気に満ちたまち「元気創造」、愛着を抱きいつまでも住み続けたいと感じるまち「若者定住」、いつまでも健康で生きがいをもって地域社会の担い手として活躍できるまち「生涯現役」という三大政策の実現に向け、市民の皆様とともに取り組んでまいります。

### 名張市議会議員 福田 博行

今年の一文字を「**進**」といたしました。まさに、新しい議会を目指す年として、更なる改革へ一歩「進」めるために、この文字を選ばせていただきました。昨年10月2日の議長選挙における所信表明の時に5つ提案をさせていただきました。「議会の自主解散による市長選挙と市議会議員選挙の同日実施」、「適正な議員定数の再検討」、「政務活動費の後払い制度の導入」、「長期欠席議員の報酬削減」、「議会選出の監査委員のあり方」であります。名張市議会は、改革が進んでいる議会と自負しておりますが、さらに改革を「進」め、一段と市民の皆様が開かれた議会とするため、提案の実現を目指したいと考えています。

